

夜間、店舗の前で対向車とすれ違う時（四輪車編）



あなたは夜間、片側 1 車線の道路で対向車とすれ違うところです。
左側には営業中の店舗があります。

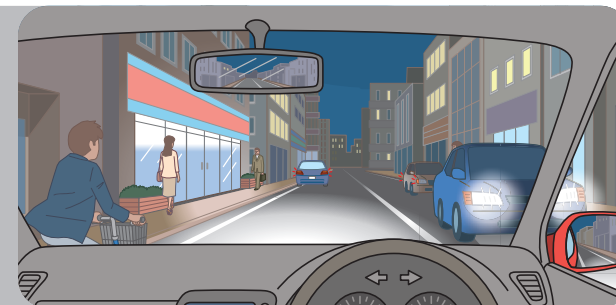
安全に走行するには、
どのようなことを予測する
必要がありますか？

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736

夜間、店舗の前で対向車とすれ違う時（四輪車編）

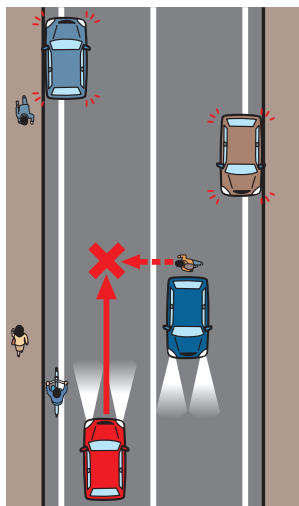
あなたは夜間、片側 1 車線の道路で対向車とすれ違うところです。
左側には営業中の店舗があります。



答え

このような状況ではこんな危険があります

- 対向車の後ろに道路を横断している歩行者がいます。そのまま直進すると、この歩行者と衝突する危険があります。
また、左側にいる自転車が前方の停車車両を避けようと、車道の中央に出てくる可能性もあります。



ここがポイント

店舗の前を通過する時は 死角から出てくる歩行者に注意

- 対向車の直後に横断する歩行者は対向車の死角に入るため、気づきにくくなります。この場面のように、人が集まる店舗の前では「対向車の後ろから歩行者が出てくるかもしれない」と予測しておくことが事故防止につながります。
- 横断している歩行者も対向車の存在で、あなたのクルマは見えにくくなっています。ドライバー・ライダーは周囲が薄暗くなったと感じたら前照灯（ヘッドライト）を点灯させ、自分の存在をアピールしましょう。また、夜間は対向車のヘッドライトで眩惑され、歩行者がさらに見えにくくなるので速度を落とし、慎重な運転を心がけてください。
- 歩行者は、横断禁止ではなくても横断歩道を利用するようにしましょう。やむを得ず横断する場合は、走行車両の直前・直後の横断はやめましょう。走行している車両の直後は対向車からは死角となり、気がつかない可能性が高まるため、たいへん危険です。右側からクルマが通り過ぎても、すぐ横断せず、左側からクルマなどが来ていないか確認して渡ってください。

【使用上の注意】

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736